

庄内地域における結核発生状況

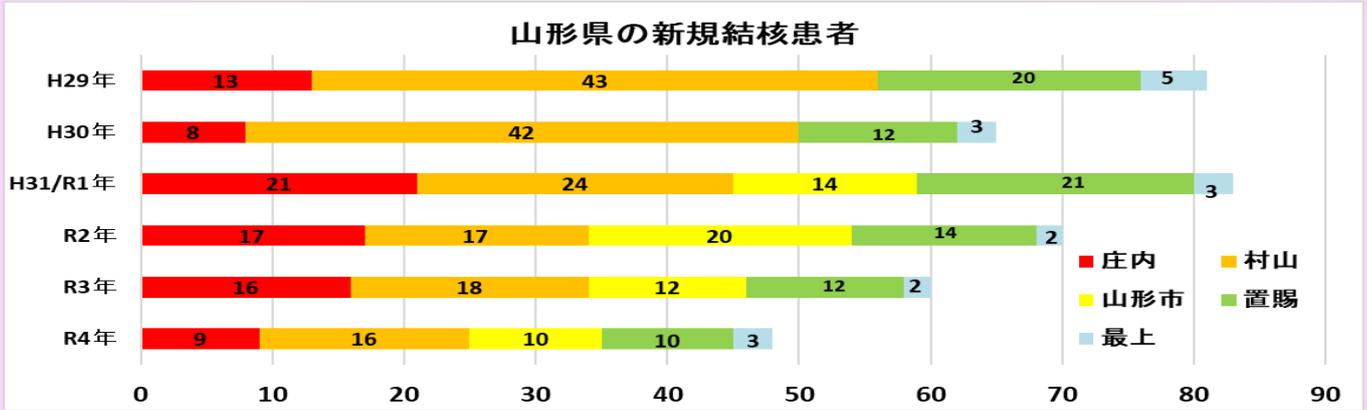
山形県庄内保健所



1 山形県内の新規結核患者数

山形県内の新規結核患者は**毎年50～80人超**報告されています。

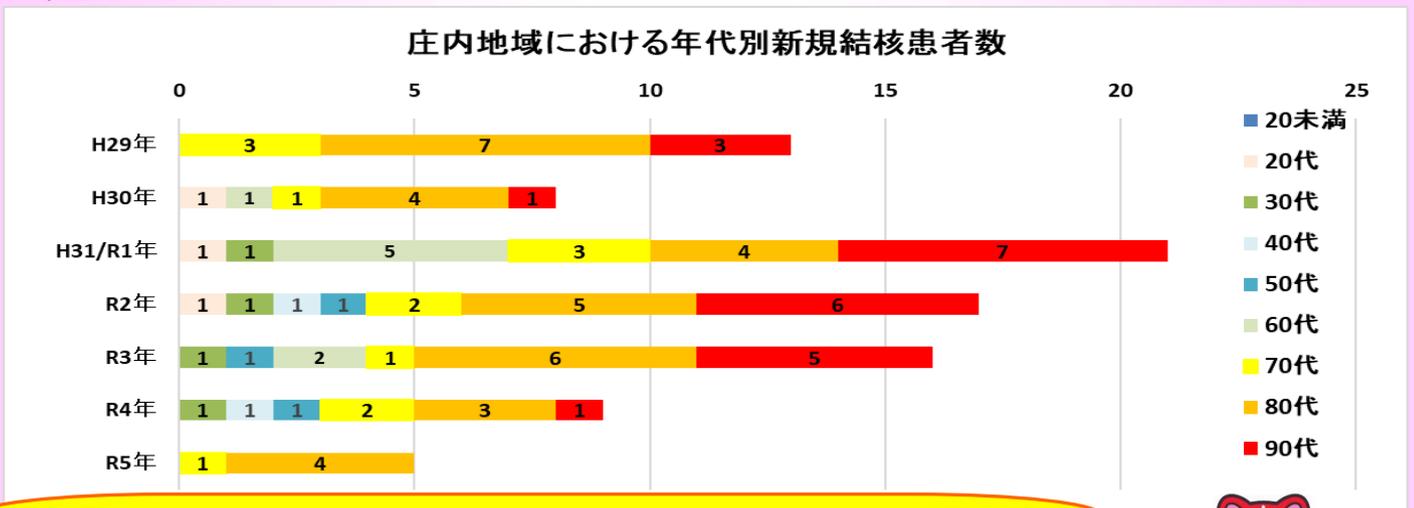
結核は過去の病気ではなく、現在も新しい患者が発生している、対策が必要な感染症です。ただし昔言われていたような「不治の病」ではなく、**薬を毎日飲んで治療すれば治る病気**でもあります。



2 庄内地域の新規結核患者数

令和5年の庄内地域の新規結核患者は**5人**の報告がありました。

年代別では、どの年も**60代以上の高齢者の割合が多い**ことが分かります。若い頃に知らないうちに結核菌に感染し、高齢となり、身体の免疫力が弱まり結核を発病するケースが多いと考えられます。



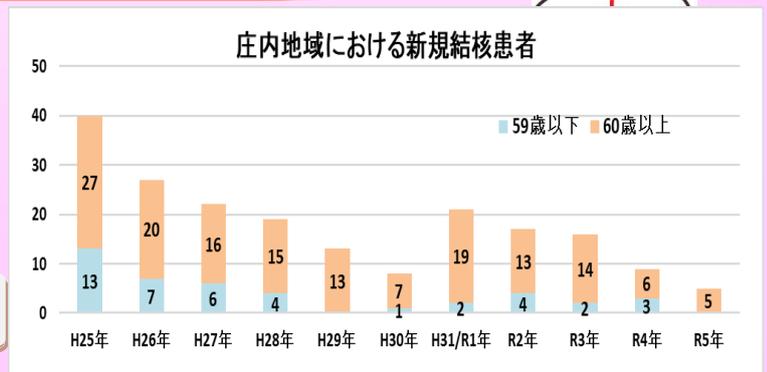
加齢や病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病することがあるので、注意が必要です！



一方で、**59歳以下からも結核患者が報告**されています。

59歳以下でも結核患者の報告があり、病状によっては入院が必要な場合があります。

高齢者に限らず注意が必要です！



近年は、多くの方がさまざまなところへ行き来するようになりました。
そのため、若い世代でも、**知らず知らずのうちに結核菌に感染し、体内に結核菌を保菌している人が増えている可能性があります。**

海外に仕事や旅行に行った人、海外からやって来た人が感染しており国内に持ち込まれ感染が広がることも…。

結核はまだ身近な病気です

この機会に結核について正しい知識をもち、身近に起こりうる病気として日ごろから健康管理に気をつけましょう!!!

「せきやたんが出る」「微熱が治らない」などの症状が続いたら早めに医療機関を受診しましょう。



『複十字
【Double-Barred Cross】』は
結核予防運動の
シンボルマークです。

結核の予防方法について

1 生後1歳までにBCG接種を受けましょう!

BCGは、結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぎます。
生後1歳まで（標準的接種期間は生後5～8ヶ月）に、必ずBCG接種を受けましょう。（長期にわたり療養を必要とする疾病にかかったなど、特別な事情を除きます。）効果は15年程度持続すると言われています。



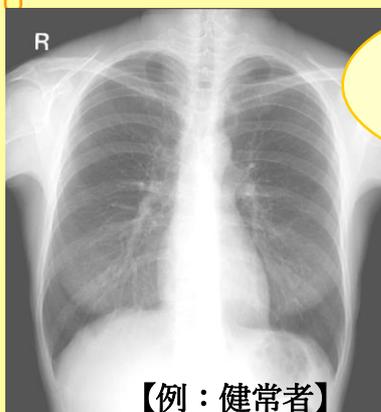
2 定期的に胸部エックス線検査を受けましょう!

早期発見のために、年1回は住民健診・職場健診・学校健診等を必ず受けるようにしましょう。

3 自分でできる予防方法!

どのような病気にもいえますが、健康的な生活が免疫力を高めます。
バランスのよい食事・十分な睡眠・適度な運動等に気を配り、自分の免疫力を高め、結核を予防しましょう。

ここで、ちょっと胸部エックス線写真の一例をご紹介します



【例：健常者】

両肺とも黒く写っています。空気が充満してきれいな肺です。



【例：肺結核患者】

左肺が白く写っています。炎症を起こしています。



*結核については、庄内保健所のホームページからもご覧いただけます→

山形県庄内保健所 保健企画課 感染症対策担当
住所：山形県東田川郡三川町大字横山字袖東 19-1 TEL：0235-66-4920

